

【2020 年度 通訳案内の実務 解説】

1

- (1) 正解は③。通訳案内士法第五十二条は「全国通訳案内士でない者は、全国通訳案内士又はこれに類似する名称を用いてはならない」となっている。①に関しては、全国通訳案内士又は地域通訳案内士の資格を有さない者が、「トップガイド」「ハイレベルガイド」「スペシャルガイド」と名乗ることはできない。なぜなら、そう名乗ることで有資格者と同等の知識・能力があると誤解されるからである。②に関しては、2017 年以前の通訳案内士試験合格者は、有償で通訳案内を行う場合、必ず観光庁が実施する「通訳案内の実務に関する研修」を受講しなければならないが、2018 年度以降の合格者はその必要はない。④に関しては、通訳案内士法の改正により、現在では、全国通訳案内士又は地域通訳案内士の資格を有しない者であっても、有償で通訳案内を行うことができる。
- (2) 正解は②。①は「観光庁が実施する通訳案内の実務に関する研修、都道府県が実施する外国語に関する講習」が不要。③は「都道府県が実施する外国語に関する講習」が不要。④は全て不要。「観光庁が実施する通訳案内の実務に関する研修」が不要。⑤は「観光庁が実施する通訳案内の実務に関する研修」が不要。

2

正解は①。②の「サービスの提供」、③の「あっせん又は便宜の供与を行う旨の広告」、それに④の「旅行者の保護に欠け、又は旅行業の信用を失墜させるもの」と、実施行為である「麻薬を取り扱う店舗の所在地を教えたり、店舗に案内する行為」とは明らかに異なる。

3

- (1) 正解は③。①の受注型企画旅行とは、旅行者の依頼に基づいて、旅行会社が計画を作成して実施する旅行をいう。②の手配旅行とは、旅行者からの依頼で、旅行業者が、航空券や新幹線の乗車券、あるいはホテルや旅館の手配を行う旅行をいう。④の募集型企画旅行とは、旅行会社が予め計画を作成し、旅行者を募集して行う旅行のことで、いわゆるパッケージツアーのことである。
- (2) 正解は③。ここでの手続とは、例えば、企画旅行に参加している訪日外国人旅行者が、旅行地において、旅程に組み込まれたホテルに泊まれるように、添乗員が予約の再確認を行うことをいう。

4

- (1) 正解は①。②に関しては、全国通訳案内士が手配旅行の添乗を行う場合には、旅程管理主任者の資格は必ずしも必要ではない。③に関しては、全国通訳案内士は、旅行業法に基づく旅程管理業務（狭義の旅程管理）を行うことは必ずしも求められていない。④に関しては、訪日外国人旅行者から通訳案内を直接依頼された場合においても、狭義の旅程管理業務は実施する義務は発生しない。
- (2) (ア) の正解は①。SIT は、Special Interest Tour（直訳：特別な関心の旅行）の略。(イ) の正解は⑧。SIC は、Seat-In-Coach（直訳：バスの中の席）の略。(ウ) の正解は⑥。FAM は Familiarization trip（直訳：慣らせる旅行）の略。
- (3) 正解は⑤。団券の減員処理は「出札証明」と「改札証明」があり、出札証明の場合は、列車の出発 2 時間前までにみどりの窓口で、団券の出札証明欄に不要人数を記入してもらう。一方、改札証明の場合は、改札通過時に、乗車駅と下車駅の改札もしくは精算窓口で、団券の改札証明欄へ乗車人数を記入してもらう。
- (4) 正解は③。「精算にあたっては必要なのは清算書や受領書等が揃っているか確認する」ことではない。実際に清算書とともに提出するものは、領収書や受領書なのである。また特に領収書については、日付に不備がないか確認することが重要である。

5

正解は①。②に関しては、「ひとまず謝罪をし、自身の過失を認める」と、賠償支払いをする意思があると誤解される。③と④に関しては、クレームが出そうな場合は、率先してエージェントに連絡することがいいのである。先にお客様から情報が入ると全国通訳案内士の立場が悪くなる。

6

- (1) 正解は②。災害発生時には真っ先に行うのは避難行動であって、救命行動ではない。外国人、特に欧米人は個人主義的だと一般に言われているので、日本人の集団行動に慣れ親しんでいない場合がある。
- (2) 正解は④。①に関しては、「医療知識に基づいた対応」を全国通訳案内士が行えないのは自明である。②に関しては、全国通訳案内士が「医療診断措置」を行えるはずがない。③に関しては、全国通訳案内士が「医療知識に基づいた対応」を行うことができないのは当然だが、全国通訳案内士自らがAED(自動体外式除細動器)を使い救急救命措置を行うことは想定される。
- (3) 正解は①。②に関しては「話者の話をくみ取り自分の経験も交えて、通訳案内士としての意見を伝える」べきではない。患者の話を医療スタッフに正確・忠実に通訳すべきであり、自分の判断や意見を言うてはいけない。③に関しては、「会社からの預り金で立替払い」はしない。④に関しては、「医療通訳は、全国通訳案内士の資格のみでは対応できない特別なスキルを必要とするため、いかなる場合でも通訳を引き受けることはしない」のではなく、「通常は専門の医療通訳者に委ねる」のが正しい。

7

- (1) 正解は④。これは常識で判る。
- (2) 正解は②。著作権の保護期間は、原則として、著作者の生存期間と死後 50 年と定められている。大正年間に死亡したなら、遅くとも 1926 年(大正 15 年)には亡くなっている。ゆえに著作物は 1977 年からは誰でも利用できる。しかし、①の地図であれ、③の風景写真であれ、また、④の「お客様(小学生)が書かれた旅行記」であれ、著作者の許諾なく使用した場合は著作権に違反する。
- (3) 正解は④。①に関しては、自家用車による運送行為に対して金銭を受け取らず、通訳案内業務を有償で行った場合は違法行為となる。②に関しては、渋滞等により貸切バスの運行ルートの変更が必要となった場合でも、運転者に法定の上限運転時間を超えて運転させることはできない。③は「2時間」を「4時間」に直せば正しくなる。
- (4) 正解は①。不当表示禁止の例としては、「他社製品の2倍の量」と表示しているが、実際には他社製品と同程度の内容量だった場合である。

8

- (1) 正解は④。『ブリタニカ国際年鑑』(2017 年版)によると、1 位のキリスト教徒は約 24 億人、2 位のイスラム教徒は約 17 億人、3 位のヒンドゥー教徒は約 10 億人で、仏教徒は約 5 億人いる。
- (2) 正解は②。ヒンドゥー教徒にとって牛は神聖な動物であり、彼らは牛を食べないどころか、屠殺することもできない。
- (3) 正解は②。①に関しては、牛などの動物は食べないが、鶏肉と魚介類は食べる部分的な菜食主義者はポヨ・ベジタリアンと呼ばれる。③に関しては、植物性食品と牛乳やチーズなどの乳製品のほか卵も食べるベジタリアンはラクト・ベジタリアンと呼ばれる。④に関しては、植物性食品と魚介類を食べるベジタリアンはペスコ・ベジタリアンと呼ばれる。